

# SYMPOSIUM

## 「やまがた×幸せ」シンポジウム

「全47都道府県幸福度ランキング」7位に輝く山形県。その理由を紐解きます！

山形の良さや誇り、山形の暮らしの中にある「幸せ」などについて考えるきっかけづくりを目的に「やまがた×幸せ」シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、「全47都道府県幸福度ランキング」を調査・分析している一般財団法人日本総合研究所

理事長の松岡斉さんによる講演や、山形の魅力を県内外に発信しているゲストスピーカーによるトークセッションを行いました。



## 講演会



GUEST SPEAKER

講師

一般財団法人日本総合研究所理事長

# 松岡 斉さん

### Profile

中央大学法学部、マラヤ大学大学院公共政策研究科を卒業。日米のシンクタンクで研究員を務め、1993年日本総合研究所へ入所。2018年に理事長就任。「全47都道府県幸福度ランキング」の調査・出版にあたる。専門は国・自治体・企業の政策や施策、経営方針等策定に係る制度設計、コンサルティングなど。1955年徳島県生まれ。

THEME

## 都道府県幸福度ランキングから紐解く “山形の幸せ”とは？

### 80の指標から幸福度を分析

幸福度の研究分析を始めたのは2011年の東日本大震災がきっかけ

でした。震災によって人々の考え方や価値観が大きく変わると感じたからです。そこで、人々がもっと幸せに

なるために、地域が持つ共通のポテンシャルや課題をデータ化して提供しようとして実施しました。幸福度の受

け止め方は一人ひとり違いますので、分析は、国が発表している公的な統計データをもとに、客観的な視点で行っています。基礎的な地域力・行政力を評価する「基本指標」、健康・文化・仕事・生活・教育面から評価する「分野別指標」、さらに、時々の社会変化に応じて多角的に評価する「追加指標」の3つの指標で構成しており、全部で80のデータから総合ランキングを導き出していきます。

### 山形県は暮らしの評価が上位に

幸福度ランキング(2022年版)の山形県の順位は7位です。スタートした2012年は31位でした。1年置きに調査していますが、毎回順位が上昇しています。基本指標では全国2位で、特記すべきは食料自給率の高さです。おいしい食べ物を自分の地域でつくることのできるのはとても素晴らしいことだと思います。雇用

面では正規雇用者の比率が1位で、東京よりも高い結果です。「地域に安定した産業が存在し、雇用環境が整えられている」「産官学民が協働で雇用創出に取り組み、若者から高齢者までオール世代の働き口が充実している」ことが数字から読み取れます。個人(家族)の観点から山形県の魅力を考えてみても、インターネット普及率が低い以外、待機児童率や持ち家比率などすべて上位です。これらは安心して暮らせる基盤が整っているということだと思います。

### 都会のほうが幸せ?それとも…

田舎と都会の幸福について考えたとき、都会に住む人は「都会のほうが幸せ」、田舎に住んでいる人は「田舎は都会に比べると幸せが少ない」と捉えがちです。しかし、山形県は、地域に根差したさまざまな施策によって幸せが維持されています。

今、日本は太平洋側よりも酒田港など日本海側の物流が活況を呈しています。そうした時流に乗った取組み一つひとつが幸福度を高めることに関連してきます。以前は高速道路が整備されていない、高速通信網が十分ではないなどの理由から「不便だ」と思われがちだった地方での生活も、デジタル技術の発達により、どこにいても多くの人とコミュニケーションを図ることが可能になりました。田舎の幸福度は、今後ますます伸びていくと思います。

## トークセッション



一般財団法人 日本総合研究所理事長

松岡 齊さん

### 幸せに通ずるヒントは「移動」と「交流」

今回のランキングで7位という結果に実感がわかないという県民の方々もいらっしゃるでしょう。長く住んでいると、日々の生活が当たり前になり、自分の住む県の魅力に気づかなくなってしまうがちです。今回、山形に移住し、生活スタイルを変えながら幸せを感じているという皆さんのお話を聞き、多くのヒントをもらいました。他の地域に行ってみたり、他の地域から来た人と交流することが、自分の地域の良さを知ることにつながってくると思います。



ANA SHONAI BLUE  
Ambassador

坂本 里帆 さん

## 豊かな時間が日常の中に溶け込んでいます

ANAあきんど庄内支店が募集した地域創生の活動に手を挙げ、2021年に庄内へ移住しました。今は時間があれば釣りに行き、釣った魚を夕食のおかずにしたたり、農家さんと農作業を手伝ったり。こうした豊かな時間が特別なことではなく、日常の中に溶け込んでいます。また、山形には長く受け継がれてきた祭りや建造物が多く、歴史の中に自分もいるような感覚を味わえます。仕事で国内外を訪れるので、山形の食べ物のおいしさや人柄の良さに気づくこともしばしばあります。自分の幸福度や安心感が、山形に住むことで高まりました。



山形県住みます芸人  
ソラシド さん

本坊 元児 さん (写真左)

## 県民性に触れ山形のファンに

20年間芸人として売れず、社会的な信用もなく、人に認められることの少ない世界から移住して来ました。控えめでちょっと奥ゆかしい県民性に触れ、すっかり山形県のファンになりました。友達が増えて視野も広がり、人と触れ合うことで癒されたり、ときにはほっこりするこも。今は山形での生活を存分に楽しんでいます。

水口 靖一郎 さん (写真右)

## 残すべき幸せと創っていく幸せ

全国一滝が多いと聞いてよく見に行きますが、滝には一つとして同じ流れはありません。一期一会の感動をもらっています。少し車を走らせれば自然の恩恵が受けられる山形。これってすごいことです。自然のようにもう創ることのできない幸せは残し、創造できる幸せを自分たちで考えていくことが大事だと思います。



YouTuber  
渋谷 真子 さん

## 近くのまちへ旅することから始めてみよう!

今はどこにいても全国の人とつながって仕事をする事ができます。私の住む地域は住宅が15軒しかなく、みんなが家族のように助け合って生活しています。春になると、桜と雪と青葉を一斉に見ることができ、朝は鳥のさえずりが目覚まし時計代わりです。自然に囲まれ、居心地の良い山形に暮らしながらYouTuberとして活動できて幸せです。県外の人と話して感じるのは、自分自身が県内のまちをよく知らないということ。近くのまちを旅するところから始め、その地域の魅力を知ればもっと山形県が好きになると思います。